

平成23年度

事業報告書

自：平成23年4月 1日

至：平成24年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

平成23年度事業報告

I センターの運営

1 センターの概要（平成24年3月31日現在）

設 立	昭和17年12月28日（財団法人京都技術科学館として設立） 昭和35年12月27日（財団法人近畿地方発明センターに名称変更）
役 員	16名（理事14名 監事2名）
評 議 員	20名
委 員	技術委員会委員 6名 テクノ愛実行委員会委員 7名 同 選考委員会委員 10名

2 通常理事会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成23年 6月21日	発明センター 会議室	I 議 事 1 評議員の選出の件 2 平成22年度事業報告の件 3 平成22年度決算の件 4 新公益法人移行申請に伴う基本財産の件 5 定款の変更の案の件 6 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する基準規程の件 7 内部諸規程の件 8 新公益法人移行認定申請の件 II 報告事項 1 理事の選任及び役員任期について 2 最初の評議員の選出について
第2回 平成24年 3月23日	発明センター 会議室	I 議 事 1 評議員の選出の件 2 平成24年度事業計画の件 3 平成24年度収支予算の件 4 平成24年度研究開発助成金交付対象者等の決定の件 5 事務局長任命の件 II 報告事項 1 公益財団法人京都技術科学センターへの移行について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について

3 評議員会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成23年 6月21日	発明センター 会議室	I 議 事 1 理事の選任及び役員の任期の件 2 平成22年度事業報告の件 3 平成22年度決算報告の件 4 新公益法人移行申請に伴う基本財産の件 5 定款の変更の案の件 6 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する基準規程の件 7 内部諸規程の件 8 新公益法人移行認定申請の件 II 報告事項 1 評議員の選出について 2 最初の評議員の選出について
第2回 平成24年 3月23日	発明センター 会議室	I 議 事 1 平成24年度事業計画の件 2 平成24年度収支予算の件 II 報告事項 1 評議員の選出について 2 平成24年度研究開発助成金交付対象者等の決定について 3 事務局長の任命について 4 公益財団法人京都技術科学センターへの移行について 5 建物賃貸借契約者の異動状況について

4 監事監査

開催年月日	場 所	内 容
平成23年 5月27日	発明センター 会議室	平成22年度事業報告及び決算の監査

5 最初の評議員選定委員会

開催年月日	場 所	内 容
平成23年 4月26日	発明センター 会議室	1 議長選出 2 最初の評議員選出の件
平成23年 12月5日	発明センター 会議室	1 議長選出 2 辞退に伴う新たな最初の評議員選出の件

6 公益財団法人の認定

内閣総理大臣から、平成24年3月19日に申請どおり公益財団法人としての認定を受けた。（移行認定申請日 平成23年7月20日）

II 事業実績

1 研究開発の支援

研究機関等に所属する研究者が行う研究開発を支援・促進することによって、科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、その研究開発等に必要な経費を助成するとともに、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考した。

(1) 平成23年度研究開発助成金の交付

センター技術委員会で審査選考した研究者の研究開発助成テーマの研究開発に必要な経費を助成した。

- ア 名称 平成23年度研究開発助成金
 イ 助成金総額 1,500万円
 ウ 助成テーマ 14テーマ（一覧表は、別記のとおり（応募76テーマ））
 エ 研究期間 平成23年4月から平成24年3月まで 1年間
 オ 研究成果 別添「研究助成成果報告書」のとおり

平成23年度研究開発助成テーマ等一覧表

番号	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所属	役職等	氏名	
1	触媒用鉄系ナノポーラス材料の創製	京都大学大学院 エネルギー科学研究科	助教 エネルギー 科学博士	袴田 昌高	100
2	水存在下でのエポキシドのメタルフリー精密開環重合の開発	高知工業高等専門学校 物質工学科	准教授 工学博士	森長 久豊	100
3	農薬系環境汚染物質を特異的に検出する機能性ナノ磁気微粒子の開発	北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科	助教 材料科学 博士	平 修	140
4	導電性高分子ナノファイバを用いた光起電力素子の開発	京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	助教 工学博士	山下 兼一	100
5	分子性結晶を用いたグラフェン類似構造体の構築	大阪大学大学院 理学研究科	助教 工学博士	平尾 泰一	120
6	熱または光により芳香環化が可能なフタロシアン型錯体の研究	大阪大学大学院 理学研究科	講師 理学博士	福田 貴光	100

番号	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所 属	役職等	氏 名	
7	交互共重合体を基盤とする分子配列科学	京都大学大学院 工学研究科	准教授 工学博士	大内 誠	100
8	巨大ひずみ加工とマルテンサイト変態を融合した新規な加工熱処理による超高強靱鋼の開発	京都大学大学院 工学研究科 材料工学専攻	助教 工学博士	柴田 暁伸	100
9	新規発光特性を示す複合酸化物ナノ蛍光体の合成	京都大学大学院 工学研究科	助教 工学博士	細川 三郎	100
10	ナノおよびメソ細孔材料を利用した酸素・メタン分子活性化	岡山大学大学院 自然科学研究科	特別契約 職員 助教 理学博士	板谷 篤司	110
11	電気・電子デバイスの高機能化を目的としたポリイミドの新規微細加工技術の開発	広島大学大学院 工学研究院 物質化学工学部門	助教 工学博士	春木 将司	100
12	酸化チタンナノ構造体の光キャリアダイナミクスの解明による高機能光触媒への展開	京都大学化学研究所 光ナノ量子元素科学 研究領域	特定助教 理学博士	山田 泰裕	130
13	省エネルギー型電気自動車モータへの応用を目指した高機能性高温超伝導線材の創製	米子工業高等専門学校 電気情報工学科	助教 工学博士	田中 博美	100
14	磁性強誘電体薄膜における磁気ドメイン-強誘電性ドメイン間相互作用	大阪府立大学大学院 工学研究科	准教授 工学博士	吉村 武	100

(2) 平成24年度研究開発助成の研究テーマの募集と選考

40歳未満の大学教員等が実施する研究開発を支援するため、平成24年度に助成する研究開発助成テーマを募集し、技術委員会を開催して選考のうえ、理事会（平成24年3月23日開催）の承認を得て助成テーマを決定した。

ア 助成対象者 北陸地方から中・四国地方までの地域にある国公立大学等の理工学部系に在籍する40歳未満の若手研究者

イ 研究分野 新素材の開発及び機能に関する基礎的並びに応用的な研究

ウ 募集期間 平成23年11月15日から平成24年1月20日まで

エ 応募テーマ数 61テーマ

オ 助成テーマ数 12テーマ

カ 技術委員会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成24年1月28日 ～2月9日	(書面審査)	平成24年度研究開発助成テーマの選考 について(第1次審査)
第2回 平成24年2月27日	発明センター 会議室	平成24年度研究開発助成テーマの選考 について(第2次審査)

2 科学技術に係るセミナー・研究会等

新製品・新技術開発に利用できる基盤技術や先端技術等の動向解説、新しい技術課題等を研修する技術セミナーや研究会等を開催し、人材育成に寄与した。

(1) 技術セミナー事業

新素材の開発、従来材の新しい性能発現プロセスから、最終使用目的に合致した材料プロセス等の動向や可能性について理解を深めるとともに、新技術の開発や生産技術及び加工技術の向上を図ることを目的として、技術セミナーを開催した。

ア 名 称 平成23年度ものづくり基盤技術セミナー

イ 共 催 財団法人近畿地方発明センター
京都府中小企業技術センター

ウ 日時等

第1回	日 時 会 場 テ ー マ 講 師 参 加 者	平成23年6月24日(金) 13:00～16:30 京都府産業支援センター(5階 研修室) 鋼の熱処理の基礎 京都大学大学院工学研究科 材料工学専攻 教授 辻 伸泰 氏 26名
第2回	日 時 会 場 テ ー マ 講 師 参 加 者	平成23年7月26日(火) 13:00～16:30 京都府産業支援センター(5階 研修室) 材料強度学の基礎と金属疲労 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 准教授 森田 辰郎 氏 26名
第3回	日 時 会 場 テ ー マ 講 師 参 加 者	平成23年10月14日(金) 13:00～16:30 京都府産業支援センター(5階 研修室) 工業製品の不具合事例とその対策について 大阪府立産業技術総合研究所 主任研究員 武村 守 氏 (地・独)大阪市立工業研究所 研究主任 田中基博 氏 奈良県工業技術センター 主任研究員 梅本博一 氏 滋賀県工業技術総合センター 主任技師 岡田太郎 氏 京都市産業技術研究所 南 秀明 氏 京都府中小企業技術センター 主任研究員 坂之上悦典 氏 28名

第4回	日 時	平成23年11月18日(金) 13:00～16:30
	会 場	京都府産業支援センター(5階 研修室)
	テ ー マ	無駄に捨てられる熱を生かせ～熱発電の技術の紹介～
	講 師	独立行政法人産業技術総合研究所 ユビキタスエネルギー研究部門 主任研究員 舟橋 良次 氏
	参加者	25名

(2) 技術研究会事業

ア CAE技術研究会

設計・製造分野においてCAE (Computer Aided Engineering) が普及してきたが、CAEを「ものづくり」の中で適切に活用するためには、まだまだ乗り越えなければならない課題がある。

そのため、CAEの概説から実習、事例研究を通じて、生産プロセス開発に必要なデータの収集及び解析など基礎的な学習を行い、設計者が日常の仕事に活用できる技術を修得するためのCAE技術研究会を開催した。

(ア) 名 称 CAE技術研究会

(イ) 共 催 財団法人近畿地方発明センター

京都府中小企業技術センター

(ウ) 参加者 関連企業の研究者・技術者(9名)

(エ) 講 師 オムロン(株)ものづくり革新本部 生産技術部(技術士)

京都府特別技術指導員 田村 隆徳 氏

株式会社島津製作所 CS統括部 笠井 貴之 氏

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 主任 中西 望 氏

(オ) 日時等

例 会	開 催 日	内 容
平成23年 4月度	4月20日(水)	ANSYS EDの基本的な操作習得 CAE総論と線形構造解析
	5月度	5月11日(水)
6月度	5月25日(水)	線形解析：形状の複雑なもの2 CAE研修・実習
	6月 8日(水)	非線形構造解析1 CAE研修・実習
7月度	6月22日(水)	非線形構造解析2 CAE研修・実習
	7月13日(水)	熱解析1 CAE研修・実習
	7月27日(水)	熱解析2 CAE研修・実習

例会	開催日	内容
8月度	8月 3日 (水)	熱応力解析・他1 C A E 研修・実習
	8月 24日 (水)	熱応力解析・他2 C A E 研修・実習
9月度	9月 14日 (水)	振動解析1 C A E 研修・実習
	9月 28日 (水)	振動解析2 C A E 研修・実習
10月度	10月 12日 (水)	事例研究
11月度	11月 9日 (水)	事例研究
12月度	12月 14日 (水)	事例研究
平成24年		
1月度	1月 11日 (水)	事例研究
2月度	2月 8日 (水)	事例研究
3月度	3月 14日 (水)	成果発表会

イ DLC成膜技術研究会

低環境負荷技術として、高硬度、低摩擦係数、耐食性など機械的特性に優れたDLC (Diamond-Like Carbon) 膜が、自動車部品や産業機器部品、金型等に適用されている。

さらに、ガスバリア性、生態適合性などDLCの多様な特性を用いた新たな用途開発が進んでおり、今後さらに用途が拡大していくことが予想される。

このため、ものづくり企業が新たな機能を付加できるDLC成膜技術について研究し、新分野への展開につなげるためのDLC成膜技術研究会を開催した。

第1回	日時	平成23年6月29日 (水) 13:30~16:30
	場所	京都府産業支援センター
第2回	講演	①ダイヤモンドライクカーボン (DLC)膜のトライボロジー特性 講師：大阪府立産業技術研究所 機械金属部 金属表面処理系 主任研究員 三浦 健一 氏
	講演	②DLC 製膜の実際 講師：日本アイ・ティ・エフ株式会社 技術開発センター センター長 大原 久典 氏
	参加者	21名
第2回	日時	平成23年9月14日 (水) 13:30~16:30
	場所	京都府産業支援センター
第2回	講演	①奈良県工業技術センターにおけるDLC膜関連の研究開発 講師：奈良県工業技術センター 繊維・高分子技術チーム 総括研究員 三木 靖浩 氏
	講演	②プラズマイオン注入成膜法によるDLC 製膜について 講師：株式会社栗田製作所材料技術部材料技術課 DLC 係 堀口 恭光 氏
	参加者	21名

第3回	日時	平成23年11月2日(水) 13:30~16:30
	場所	京都府産業支援センター
	講演	①DLC被覆処理と金属材料の疲労強度の関係 講師：京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 機械システム工学部門 准教授 森田 辰郎 氏
		②プラズマイオン注入・成膜技術によるインテリジェントDLC 講師：株式会社プラズマイオンアシスト 代表取締役社長 鈴木 泰雄 氏
	③意見交換 コーディネーター：京都工芸繊維大学大学院 機械システム工学部門 助教 中村守正氏	
参加者	21名	

各回とも、京都工芸繊維大学大学院機械システム工学部門 助教 中村守正氏がアドバイザーを務められた。

3 科学技術を担う人材育成と啓発

科学技術の重要性が高まる中、若年層を中心に理科離れ、科学技術離れがいわれていることから、児童から学生等までを対象に、科学技術への関心を高揚するためのイベントを開催するとともに、幅広く理解を深めるための科学技術に関する情報を提供した。

(1) テクノアイデアコンテスト事業

将来の産業、科学技術の発展を担うベンチャー精神に富む起業家や、柔軟でユニークな発想をもつ研究者育成のため、大学生・大学院生、高等専門学校生及び高校生を対象にしたテクノアイデアコンテストを開催した。

また、「私の医工連携研究の経験 ちえづくりものづくり」と題した特別講演や京都府知的財産総合サポートセンターの協力による特許出願等の相談及びインターネットによる電子図書館アクセス方法等のデモンストレーションを行った。

コンテスト終了後は、発表者・参加者及び選考委員等による情報交換のための交流会を開催した。

ア 主催等

- (ア) 名称 テクノ愛2011
- (イ) 主催 テクノ愛実行委員会
- (ウ) 共催 財団法人近畿地方発明センター
京都大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
- (エ) 後援 近畿経済産業局
京都府教育委員会
京都市教育委員会
NHK京都放送局
日本ベンチャー学会
関西ベンチャー学会
- (オ) 協賛 独立行政法人科学技術振興機構
京都工芸繊維大学ベンチャー・ラボラトリー
大阪大学産学連携本部

神戸大学連携創造本部イノベーション推進部門
 関西サイエンス・フォーラム
 関西ティー・エル・オー株式会社
 京都大学生生活協同組合

(カ) 協力
 イ 募集等 京都府知的財産総合サポートセンター

(ア) 募集期間 高校の部 平成23年7月1日～平成23年9月12日
 大学の部 平成23年7月1日～平成23年9月12日

(イ) 応募総数 高校の部 394件
 大学の部 155件
 合計 549件

ウ コンテスト

発表会及び交流会

(ア) 日時 平成23年11月23日(水・祝) 9:30～18:00

(イ) 場所 ①発表会・京都大学「北部総合教育研究棟(益川記念館)」
 ②交流会・同 「理学部セミナーハウス」

(ウ) 入賞 高校の部 9件
 大学の部 9件

(エ) 来聴者 120名

エ テクノアイデアコンテストの委員会開催状況

(ア) テクノ愛実行委員会

開催年月日	場所	主な議題
平成23年6月25日	京都大学 VBL	1 平成23年度テクノアイデアコンテストの募集について 2 開催日程について

(イ) テクノ愛選考委員会

開催年月日	場所	主な議題
第1回 平成23年9月17日 ～24日 第2回 平成23年10月5日 ～15日	(書面審査)	1 平成23年度応募アイデアの選考について(第1次審査)
第3回 平成22年11月23日	京都大学 VBL	1 平成23年度テクノアイデアコンテストの審査について(第2次審査) 2 コンテスト、交流会について

オ テクノ愛2011入賞アイデア・入賞者一覧表

(ア) 高校の部

賞名	入賞アイデア	所属高等学校	入賞者氏名
グランプリ	光による柿の渋抜き法	青森県立名久井農業高等学校	荒谷 優子 市沢 理奈 中山 歩美 若本 佳南 赤石 譲二 西塚 真 山田 大地
準グランプリ	発電螺 ～移動・折り畳み式簡易発電機～	京都市立伏見工業高等学校	寺川 勇気
(財)近畿地方 発明センター賞	マイクロバブル水による塩害土壌の再生	青森県立名久井農業高等学校	荒谷 優子 市沢 理奈 中山 歩美 若本 佳南 赤石 譲二 西塚 真 山田 大地 逸見 愛生 阿部加奈江 日沢 亜美 砂沢 愛依 佐々木里菜 小町 一磨
入賞	津波時の避難場所誘導ナビ	松江工業高等専門学校	野津 拓郎
	FOCUS!	京都府立洛北高等学校	望月 夏実
	ホースと蛇口のきりかえ式コネクター	京都府立洛北高等学校	中川 祐華
	しゃかしゃかライト	名城大学附属高等学校	梅村 洋行 塚本 貴斗 河合 愛美
	暗くても安全スリッパ	京都府立京都すばる高等学校	外村梨沙子
	木製ロボットハンドーRakuyo Handーの開発と手話・義手への応用	京都市立洛陽工業高等学校	福井 雄平

(イ) 大学の部

賞名	入賞アイデア	所属大学	入賞者氏名
グランプリ	漢字を動的に表現するソフトウェア“Play with Kanji”	京都大学	高橋 亜希子
準グランプリ	まねき棚	京都工芸繊維大学	中井 道 本郷 陽平 米井 将二 富加見美沙都
京都大学 VBL 施設長賞	まるめるガイドブック 京都のほんね	京都工芸繊維大学	内山 琢海 川本 公章 羽田 亜美 米谷 健吾
入賞	全身運動を用いた被災者のメンタルケア	福井大学	松浦 康之
	太陽光発電用整流機器 (PCS) の高機能化	福井大学	吉村 和晃
	ポーズマンカメラ - 記念撮影のためのカメラアプリ	京都工芸繊維大学	出原 真人 坂戸 達陽 佐藤 佳織 秀野 雄一
	外国語の読み書きを支援する Foreign Language Pad	京都大学	高橋 亜希子
	マンガンペルオキシダーゼによる廃液処理	福井大学	藤原 伸哉
	胃電図を用いた簡便な消化器の健康管理	福井大学	松浦 康之

(ウ) 総合グランプリ

寺川 勇気 (京都市立伏見工業高等学校)

“発電螺〜移動・折り畳み式簡易発電機〜”

カ 特許相談コーナー

京都府知的財産総合サポートセンターの協力により、特許相談コーナーを設けたところ、相談コーナーには、高校生、大学生から特許電子図書館による特許情報の検索方法や出願方法について熱心な相談があり、盛況であった。

(2) 科学館・技術館訪問研修事業

21世紀をより豊かで夢のある社会にするためには、科学技術の進展が不可欠であり、そのためには中学生・高校生のときから科学技術の楽しさ、おもしろさなどを体験し、学ぶことが極めて重要である。

そこで、電池で培った先進のエネルギー技術で環境世紀をリードし、電池、電源装

置、照明機器などさまざまな電気機器事業を展開されているGSユアサを訪問し、地球環境に配慮した電気自動車と電池の話や電気自動車試乗会など、先生方と一緒に学ぶ研修会を開催した。

- ア 名称 科学館・技術館訪問研修
イ 日時 平成23年8月9日(火) 13:45~16:15
ウ 場所 株式会社GSユアサ本社
エ 参加者 中学生・高校生及び教諭 38名
オ 主催 財団法人近畿地方発明センター
カ 後援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会
キ 内容 電気自動車と電池についての講演を聴くとともに、電気自動車“デトロイト号”のビデオを鑑賞。その後ショールームにおいて、潜水艦から宇宙まで多方面において使用されている蓄電池の話を実物に触れながら見聞。本社ロータリーで電気自動車“i-MiEV”の試乗をした。

(3) おもしろサイエンス開催事業

小学生に、科学実験・工作イベントを通じて、学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めるため、冬休み・春休みを利用して開催した。

ア 主催等

- (ア) 主催 財団法人近畿地方発明センター
(イ) 後援 京都府教育委員会
京都市教育委員会
(ウ) 協力 NPO法人サイエンスEネット

イ 開催状況

第1回

- (ア) 名称 クリスマスの実験教室
(イ) 日時 平成23年12月17日(土) 13:30~16:00
(ウ) 場所 近畿地方発明センター(ホール)
(エ) 参加者 小学生44人(親子37組)
(オ) プログラム

① 科学オモチャ浮沈子の工作実験

ペットボトルを再利用し、“パスカルの原理”と“アルキメデスの原理”という物理の二大基礎原理に基づいた浮沈子の工作実験に取り組んだ。

② 省エネ電球の実験

白熱球・電球型蛍光灯・LED電球の電力量・明るさ・熱さなどを比較するとともにスリットと分光カードを使ってスペクトルを観察した。

③ サボニウス型風車風力発電機の工作実験

地球温暖化防止対策として利用されているサボニウス型風車風力発電機の模型を工作し、LEDを点灯させた。

第2回

- (ア) 名称 春の実験教室
(イ) 日時 平成24年3月20日(火・祝日) 13:30~16:00
(ウ) 場所 近畿地方発明センター(ホール)

(エ) 参加者 小学生40人(親子37組)

(オ) プログラム

- ① クリップモーターの工作及びクリップモーターカーの走行実験
モーターの仕組みを勉強しながら、クリップモーターを工作し、台車に取り付けクリップモーターカーの走行実験を行った。
- ② 光る地球ゴマの工作実験
手作りの地球ゴマを工作して発電機を組み込み、コマを回すことにより、発電機から発生する電流を用いて、LEDが光る地球ゴマの作成に挑戦した。

4 科学技術情報等提供事業

ホームページを活用し、センターが実施するイベント情報を提供することによって、利用者やイベント参加者の拡大を図った。

また、事業開始以降の研究開発助成テーマ、過去3年間のテクノアイデアコンテスト入賞アイデアやおもしろサイエンスのプログラム等を掲載し、啓発に努めた。

情報公開としては、当センターの沿革・概要及び事業計画・事業実施報告並びに収支予算・決算状況等を掲載した。

*ホームページアドレス：<http://www.khc.or.jp>

III 施設等の活用・管理

センターの目的である公益目的事業の推進のため、所有資産である建物・土地等の有効活用を図るとともに、その保守・管理を行った。

1 研究施設等の貸与

(1) 研究室・事務室の活用団体数	23団体(平成22年度	23団体)
(2) 会議室等利用件数	45件(同	33件)
(3) 工作機械使用時間数	0時間(同	17時間)
(4) 駐車場活万台数	41台(同	38台)
(5) 収納庫	23室(同	24室)

2 建物・付属設備等の管理

主な修繕・改修工事として、次の工事を行った。

- (1) 本館玄関及び1階廊下雨漏り防止工事
- (2) 本館1階12号室壁面塗装工事

収 支 計 算 書 総 括 表

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	347,767	54,051,528		54,399,295
特定資産運用収入	8,370	233,790		242,160
施設設備運用収入	0	1,250,578		1,250,578
事業収入	584,000	0		584,000
光熱水使用料収入	0	4,760,027		4,760,027
雑収入	333,802	64,820		398,622
他会計からの繰入金収入	23,000,000	0	23,000,000	0
他会計からの配賦額受入収入	0	1,231,464	1,231,464	0
事業活動収入計	24,273,939	61,592,207	24,231,464	61,634,682
2 事業活動支出				
事業費支出	18,381,494	40,678,038		59,059,532
管理費支出	2,636,027	2,437,588		5,073,615
他会計への繰入金支出	0	23,000,000	23,000,000	0
他会計への負担額支出	1,231,464	0	1,231,464	0
法人税、住民税及び事業税支出	0	1,604,700		1,604,700
事業活動支出計	22,248,985	67,720,326	24,231,464	65,737,847
事業活動収支差額	2,024,954	△ 6,128,119	0	△ 4,103,165
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	885,000	4,697,000		5,582,000
投資活動収入計	885,000	4,697,000		5,582,000
2 投資活動支出				
基本財産取得支出	0	7,050,000		7,050,000
特定資産取得支出	320,000	350,000		670,000
ソフトウェア取得支出	0	0		0
投資活動支出計	320,000	7,400,000		7,720,000
投資活動収支差額	565,000	△ 2,703,000		△ 2,138,000
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0		0
2 財務活動支出				
受入保証金返還支出	0	1,697,000		1,697,000
財務活動支出計	0	1,697,000		1,697,000
財務活動収支差額	0	△ 1,697,000		△ 1,697,000
当期収支差額	2,589,954	△ 10,528,119	0	△ 7,938,165
前期繰越収支差額	4,494,739	10,566,639	0	15,061,378
次期繰越収支差額	7,084,693	38,520	0	7,123,213

正味財産増減計算書総括表

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	347,767	54,051,528		54,399,295
特定資産運用益	8,370	233,790		242,160
施設設備運用益	0	1,250,578		1,250,578
事業収益	584,000	0		584,000
光熱水使用収益	0	4,760,027		4,760,027
雑収益	1,002	64,820		65,822
他会計からの繰入額	23,000,000	0	23,000,000	0
退職給付引当資産取崩収入	885,000	0		885,000
経常収益計	24,826,139	60,360,743	23,000,000	62,186,882
(2) 経常費用				
事業費	18,381,494	40,678,038		59,059,532
管理費	2,956,027	8,590,257		11,546,284
他会計への繰出額	0	23,000,000	23,000,000	0
他会計分配賦額	0	1,231,464		1,231,464
他会計への負担額	1,231,464	0	1,231,464	0
経常費用計	22,568,985	73,499,759	24,231,464	71,837,280
当期経常増減額	2,257,154	△ 13,139,016	△ 1,231,464	△ 9,650,398
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
雑益	332,800	0		332,800
他会計への配賦額	0	1,231,464	1,231,464	0
経常外収益計	332,800	1,231,464	1,231,464	332,800
(2) 経常外費用				
備品除却損	0	4,001		4,001
法人税、住民税及び事業税	0	1,604,700		1,604,700
経常外費用計	0	1,608,701		1,608,701
当期経常外増減額	332,800	△ 377,237	1,231,464	△ 1,275,901
当期一般正味財産増減額	2,589,954	△ 13,516,253	0	△ 10,926,299
一般正味財産期首残高	249,609,739	257,057,849		506,667,588
一般正味財産期末残高	252,199,693	243,541,596		495,741,289
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III 正味財産期末残高	252,199,693	243,541,596	0	495,741,289

貸借対照表総括表

平成24年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	8,245,502	2,691,249	10,936,751
未収金	332,800	1,456,405	1,789,205
仮払金	0	1,566	1,566
流動資産合計	8,578,302	4,149,220	12,727,522
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本預金	95,000,000	0	95,000,000
建物（本館及び分館）	0	85,357,757	85,357,757
建物付属設備	0	18,055,649	18,055,649
土地	12,600,000	0	12,600,000
減価償却引当資産	0	99,550,000	99,550,000
土地共有権	137,515,000	0	137,515,000
基本財産合計	245,115,000	202,963,406	448,078,406
(2) 特定資産			
役員退職慰労金引当資産	1,890,000	0	1,890,000
減価償却引当資産	0	11,850,000	11,850,000
事業安定積立資産	0	5,000,000	5,000,000
納税積立資産	0	2,300,000	2,300,000
建物維持積立資産	0	21,000,000	21,000,000
受入保証金引当資産	0	41,793,000	41,793,000
特定資産合計	1,890,000	81,943,000	83,833,000
(3) その他固定資産			
建物（倉庫）	0	1	1
構築物	0	244,858	244,858
工作機械・機器	0	10	10
什器備品	0	20,251	20,251
ソフトウェア	0	74,550	74,550
差入保証金	0	50,000	50,000
その他固定資産合計	0	389,670	389,670
固定資産合計	247,005,000	285,296,076	532,301,076
資産合計	255,583,302	289,445,296	545,028,598
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,166,098	54,150	1,220,248
未払費用	43,052	159,242	202,294
前受金	0	593,293	593,293
預り金	61,126	276,815	337,941
賞与引当金	223,333	140,000	363,333
未払法人税等	0	1,604,700	1,604,700
未払消費税	0	1,282,500	1,282,500
流動負債合計	1,493,609	4,110,700	5,604,309
2 固定負債			
役員退職慰労金引当金	1,890,000	0	1,890,000
受入保証金	0	41,793,000	41,793,000
固定負債合計	1,890,000	41,793,000	43,683,000
負債合計	3,383,609	45,903,700	49,287,309
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	252,199,693	243,541,596	495,741,289
（うち基本財産への充当額）	(245,115,000)	(202,963,406)	(448,078,406)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(40,150,000)	(40,150,000)
正味財産合計	252,199,693	243,541,596	495,741,289
負債及び正味財産合計	255,583,302	289,445,296	545,028,598